

MIZUHO REPORT

第23期中間 株主の皆さまへ

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

Contents

- ▶ Top Message
- ▶ 中間期決算について
- ▶ 配当について
- ▶ 価値創造への取り組み
- ▶ 業務の安定運営に関する取り組み
- ▶ インフォメーション

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

「みずほ」の企業理念



“変化の兆し”を大きな潮流に



社員発案によるお客さま向け“NISAカフェセミナー”



経営と社員の対話“タウンホールミーティング”



社員・家族による“「みずほ」お米プロジェクト”

「ともに挑む。ともに実る。」

豊かに実る未来の実現に向け、私たちは挑戦し続けます

みずほフィナンシャルグループ
取締役 兼 執行役社長 グループCEO

木原正裕



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

中間期決算および中期経営計画の進捗について

世界は今、大きな変化の時代にあります。地政学的な緊張、各国の政局変化、グローバル化の変容が、不安定な経済環境をもたらしています。富裕層と低所得者層の間の社会的格差も社会問題へと発展しています。また、テクノロジーの急速な進化は新たな可能性を生み出すと同時に、未知のリスクもはらんでいます。一方で、日本経済もようやく長いデフレから脱し、企業による投資活動や賃上げが成長と分配の好循環を生み出しつつあります。こうした動きを受け、日本銀行が金融政策の正常化に舵を切り、日本は「金利のある世界」へと踏み出しました。このように、私たちは大きな転換点を迎えています。

こうした中、2024年度中間期の決算は、国内外ともに堅調に推移した顧客部門に加え、マーケットの変化を捉えた市場部門の収益拡大も寄与したことで、親会社株主純利益5,661億円と年度計画対比75%の進捗となりました。2023年度より開始した3年間の中期経営計画もちょうど前半を終えたところですが、すでに3年間での達成を掲げた財務目標の1年前倒しでの達成も視野に入っております。また、重点分野の成長、低採算分野から高採算分野への転換の推進、規律ある経費運営などにより、着実な利益成長を実現するだけでなく、今後の持続的な成長に向けた布石を投じることができているものと手応えを感じております。こうした状況を踏まえ、今年度の親会社株主純利益の見通しを8,200億円（期初公表比+700億円）へと上方修正しております。また、2025年3月期の中間配当につきましては、かかる上方修正に伴い、配当性向40%を目安とした株主還元方針に従い、1株あたり7円50銭増額し、65円といたしました。併せて、期末配当予想も前回予想から7円50銭増額した65円とし、年間配当は130円と、前回予想から15円、前年度実績から25円の増配を予想しております。さらに、2008年7月以来、16年ぶりとなる自己株式の取得（上限：1,000億円）も実施いたします。

CEOの責任

大きな変化の時代において、金融が果たすべき役割は重要です。そして、金融機関のCEOとしての私の責務は、変化の時代において〈みずほ〉が進むべき道を構想すること、その結果として株主の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまに企業価値の向上と社会価値の創出をお届けすることです。そのことを胸に私は主に3つのことに取り組んできました。

まずは、〈みずほ〉が果たすべき役割・〈みずほ〉の存在意義、すなわちパーパスを定めることです。パーパスを定めることでステークホルダーの皆さまと志や価値観を共有することができます。

「ともに挑む。ともに実る。」

挑戦を支える、そして自らも果敢に挑戦していく。そのような思いを込めました。

次に、パーパスを実現していくための戦略の明確化です。まさに「ともに挑む。ともに実る。」を実践していくことでどのような未来を創造していきたいか、〈みずほ〉の歴史や先人たちから受け継いだDNAも踏まえつつ未来に向かって発揮しうる強みは何か、この二軸でビジネスの注力テーマを明確化しました。

最後に、健全な企業カルチャーの醸成です。戦略を実践するのは社員です。社員が成功体験を味わいモチベーション高く仕事に向き合えなければ、どのような戦略も絵に描いた餅です。社員の自由な発言と行動を促す環境を作り、誰もが自律的に行動し建設的に議論できる組織に変わっていくことにより、様々な挑戦が生まれ我々のパーパスも実現できる。パーパス・戦略・健全な企業カルチャーが相互に絡み合って好循環することで、〈みずほ〉はステークホルダーの皆さまとともに成長することができる。そんな思いを強くしています。

“変化の兆し”を大きな潮流に

成長の基盤としての組織と人の変革も、さらに強力に推進していきます。社員との対話にも一層力を入れていきます。また、社会やお客さまのニーズの変化に対応した持続可能なサービス提供の観点から、事業やサービスも未来志向で常に見直し、磨いていきます。

私は今、〈みずほ〉のなかに、“変化の兆し”を確かに感じています。一方で、私たちの挑戦は始まったばかりです。

パーパスの実現を通じて、世界の大きな変化の先にある〈豊かな実り〉に貢献するために、〈みずほ〉自身も変革を続けながら、ステークホルダーの皆さまや社会とともに挑み続けていきます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



中間期決算について

2024年度 親会社株主中間純利益

5,661 億円
(前年同期比 +1,503億円)

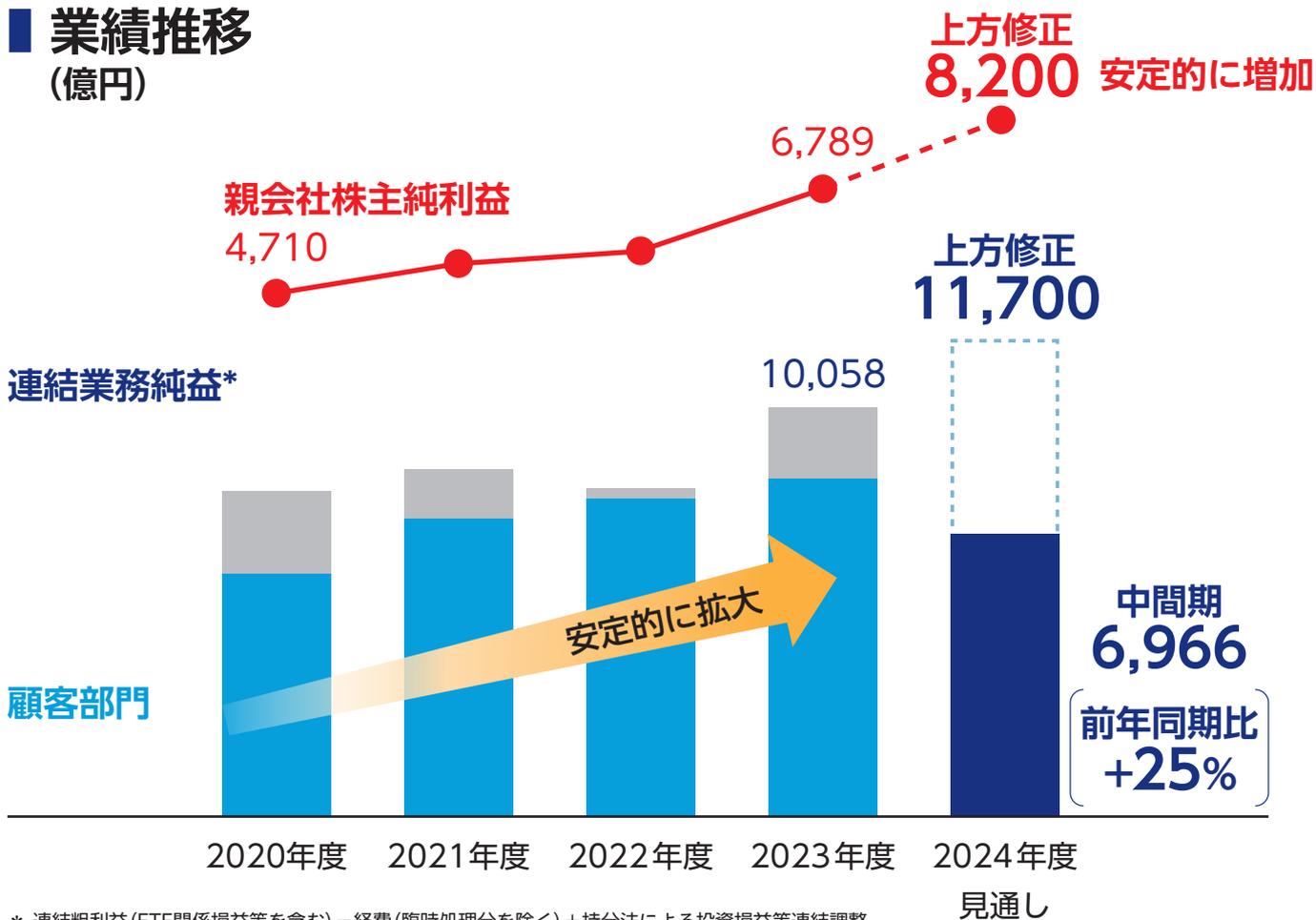
上方修正

年度見通し

8,200 億円
(期初比+700億円)

中間期決算の高い進捗や7月の日銀による政策金利引き上げ効果を踏まえ、業績見通しを上方修正しました

業績推移 (億円)



* 連結粗利益 (ETF関係損益等を含む) - 経費 (臨時処理分を除く) + 持分法による投資損益等連結調整

詳細はこちら

2024年度 中間配当金

65円

(前年度比+15円)

支払開始日：2024年12月6日

連続増配

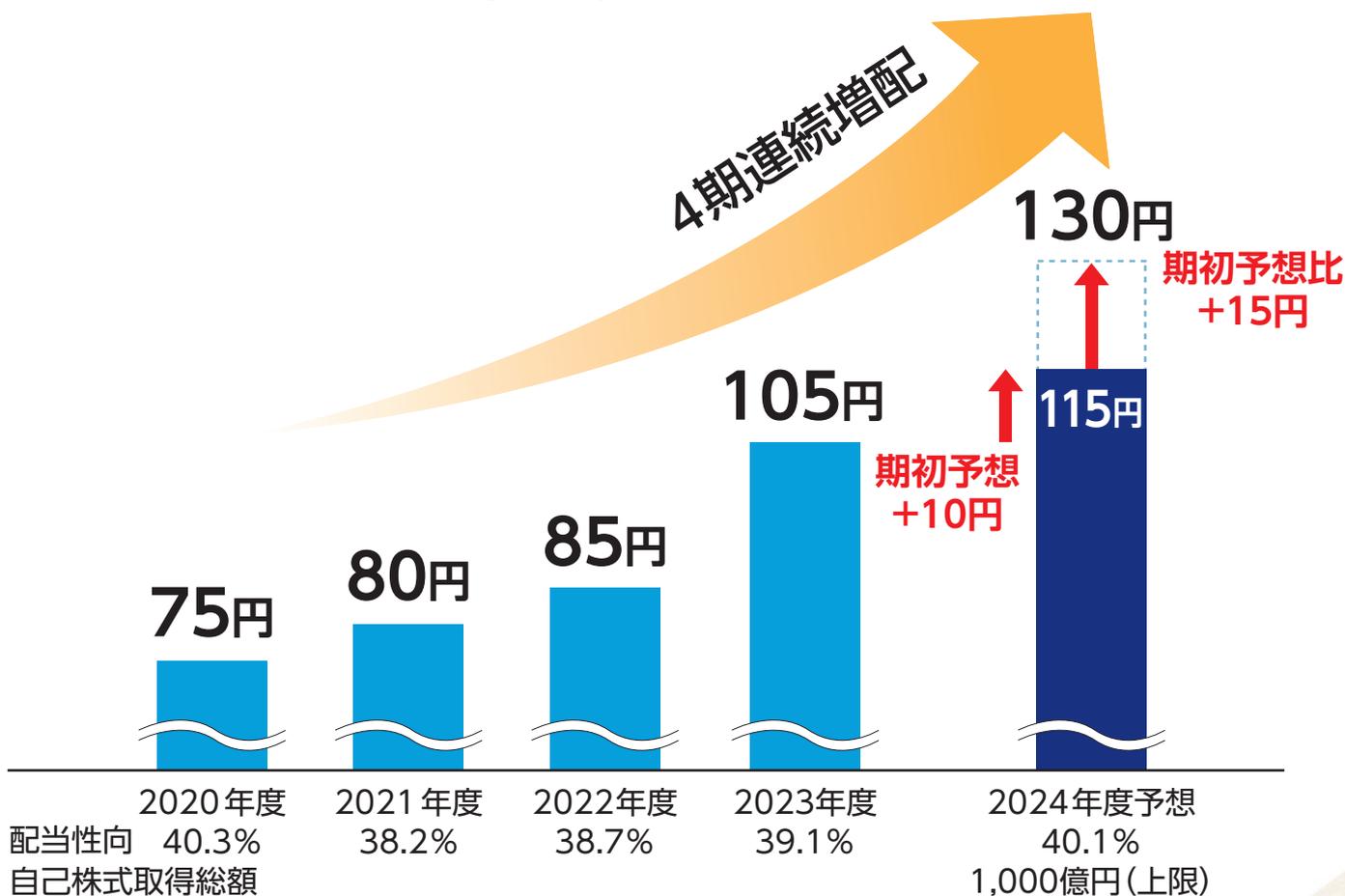
年度予想

130円

(前年度比+25円)

株主還元方針に基づき、期初予想からの更なる増配および1,000億円を上限とする自己株式取得を決定しました

1株あたり配当金 (年間)



[詳細はこちら](#)

価値創造への取り組み



顧客利便性の徹底追求

進捗・成果

- 新規口座開設数 **+10%** (中計前対比^{※1})
- みずほダイレクトアプリ (月間アクティブユーザー数) **+50%** (23年3月対比)
- リアル・リモート・デジタルの3つのチャネルの利便性向上
- 楽天カードとの戦略的な資本業務提携

店舗については「信頼・安心感を重視したサービス」を提供するため、気軽に相談できる小規模新型店舗へ順次、移行いたします。併せて、AIを活用した次世代コンタクトセンター（電話・チャット）の稼働によるリモート対応の品質向上も図ります。さらにみずほダイレクトアプリ等、デジタルサービスの見やすさや使い勝手の改善も進めます。リアル・リモート・デジタルそれぞれの利便性を高め、お客さまにとって最も便利で安心できるサービスを提供できるよう取り組んでいきます。

[詳細はこちら](#)

※1 2021年4月～2022年9月と2023年4月～2024年9月の新規口座開設数を比較



「資産所得倍増」に向けた挑戦

進捗・成果

- 個人運用預かり資産残高^{※2} **+4.9兆円** (23/3末対比)
- NISA口座数^{※3} **+12万口座** (23/3末対比)
- アセットマネジメントOne資産残高 **+7.6兆円** (23/3末対比)
- 多様な運用商品の展開
- 米国運用会社Golub Capitalと業務提携

コンサルティング力の強化に不断に取り組み、社員のリテラシー向上やお客さま本位の業務運営の更なる向上を進めます。また、お客さまの志向や状況に応じて適切な投資機会をお選びいただくために、アセットマネジメントOneの運用力・商品開発力の強化、また、海外の優良運用会社との提携強化を通じた質の高い商品の品揃え強化に継続的に取り組んでいきます。

[詳細はこちら](#)

※2 FG個人運用預かり資産残高。株価変動等の影響を含む。為替は計画レートを適用
※3 みずほ銀行+みずほ証券



日本企業の競争力強化

進捗・成果

- イノベーション企業へのリスクマネー供給を加速
(投融資残高) **+38%** (23/3末対比)
- 信託機能を活かした企業オーナーへのアプローチ強化
(期待収益額) **+63%** (23/4末対比)
- コーポレートアクションへの能動的アプローチは着実に進展

大企業：資本戦略も含めた経営課題へのアプローチを深化

中堅上場企業：東証改革や企業の成長意識の高まりを受け、活発なアクションを捕捉

企業価値の低迷やPBR1倍割れ等の課題に直面する大・中堅企業、代々築き上げてきた事業や資産の次世代承継に悩む中小企業オーナーなど、日本企業は常に様々な悩みを抱えています。今後も〈みずほ〉は、みずほ信託銀行やみずほ証券をはじめ、グループ各社が有するコンサルティング機能と金融技術を結集して、総合的なソリューション提供に向けてさらに取り組みを強化していきます。

詳細はこちら



グローバルCIBビジネス

進捗・成果

- 30年度までにグローバルTop10へ
(FY23グローバルリーグテーブル*) **グローバル14位**
うち、アジアの金融機関 **1位**
- 米州資本市場におけるビジネスシェア向上
(FY23米州リーグテーブル*) **15位** (FY22 18位)
- 低採算分野から高採算分野への転換による資本効率向上
(貸出金利鞘) **+13bps** (FY22対比)

社債やローンアレンジメントにおける〈みずほ〉の従来の強みに加えて、米国M&Aアドバイザー会社Greenhill社の買収を通じ、M&Aやエクイティの分野における対応力も強化しています。日本と世界をつなぐ企業活動の支援においても、独自の強みを構築すべく、取り組んでいきます。

詳細はこちら

* フィーベース。投資銀行プロダクト。(出所)Dealogic



サステナビリティ & イノベーション

進捗・成果

- サステナブルファイナンス実績^{※1} **34.3兆円**(FY24上)
- トランジション出資枠・価値共創投資^{※2} **約1.6倍**(23/3末対比)
- 脱炭素社会に向けた将来戦略
水素社会の実現、カーボンプレジット市場の育成、インパクトの創出、循環型社会の実現など

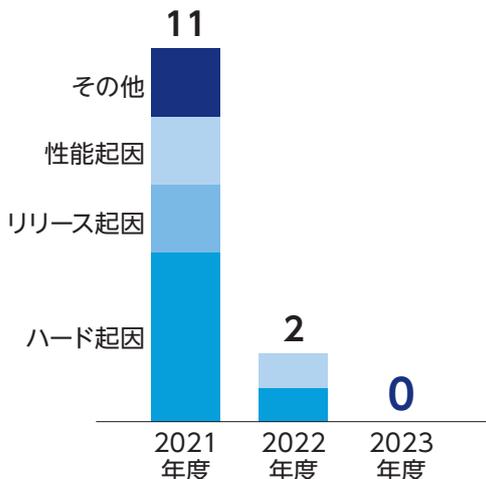
サステナビリティにおいては、脱炭素社会への移行に向けたファイナンスや投資などの資金を供給します。また、持続可能な将来を見据えた注力領域における最先端の技術や知見、情報の活用を通じて、社会課題の解決に積極的に貢献していきます。イノベーション領域においては、〈みずほ〉自身による資本投下も通じて、意欲ある起業家の挑戦を支えていきます。

[詳細はこちら](#)

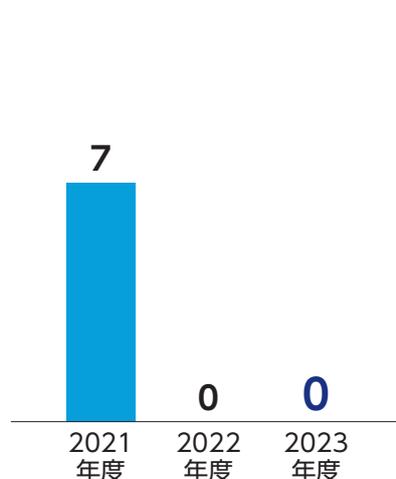
※1 累計。速報ベース
※2 トランジション出資枠・価値共創投資の両枠合計

業務の安定運営に関する取り組み

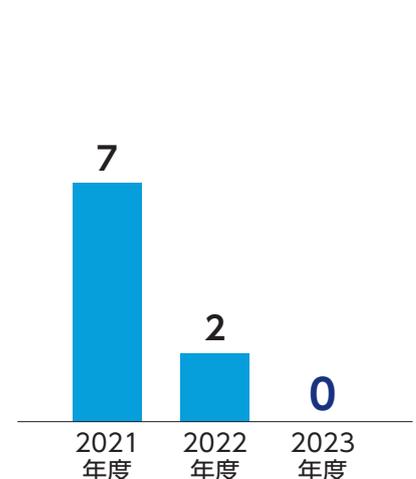
大規模障害^{※3}
(件数)



システム復旧3時間超^{※3}
(件数)



翌日扱い障害^{※3※4}
(件数)



※3 影響が大きいシステム障害(国内影響。外部起因除く)。2021年度は一部2021年2月~2022年3月
※4 当日中に処理すべき取引が翌日扱いとなった障害の発生件数(国内)

[詳細はこちら](#)

インフォメーション

—— 配当金のお受け取りは、便利な口座振替をご活用ください。 ——

 <p>お手続きは カンタン</p>	<p>配当金振込指定書を ご提出いただくだけで手続完了</p>	<p>みずほ信託銀行のウェブサイトへ click 詳細はこちら</p>
 <p>お問い 合わせは こちら</p>	<p>証券会社等に 口座を開設されている株主さま</p> <p>お取引のある証券会社等に お問い合わせください。</p>	<p>証券会社等に 口座がない株主さま</p> <p>みずほ信託銀行  0120-288-324 (通話料無料 土・日・祝日を除く9:00~17:00)</p>

—— 株主総会資料のご案内方法が一部変更になります ——

- 第23期定時株主総会における株主総会資料（招集ご通知）は、原則として当社ウェブサイト等でご案内いたします。株主の皆さまのお手元には当該ウェブサイトのアドレス（URL）等を記載した簡易的な招集ご通知をお届けする予定です。
- 引き続き書面による株主総会資料の郵送をご希望される場合には、「書面交付請求」のお手続きを行っていただく必要があります*。詳しくは、当社株主名簿管理人であるみずほ信託銀行の以下のお問い合わせ窓口、または株主さまが口座をお持ちの証券会社までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

* お手続きにお時間がかかる場合がありますので、ご希望される株主さまはお早めにお手続きください。なお、すでに書面交付請求済みの株主さまは、重ねての書面交付請求のお手続きは不要です。

<p>みずほ信託銀行 お問い合わせ窓口</p>	<p>みずほ信託銀行 電子提供制度専用ダイヤル</p>	<p> 0120-524-324 (通話料無料 土・日・祝日を除く9:00~17:00)</p>
-----------------------------	-----------------------------	--

株主の皆さまの声をお聞かせください

webアンケートにご回答いただいた方の中から抽選で



薄謝 **500円分** プレゼント!

—— アンケート実施期間:2025年1月31日まで ——

webアンケートに答える

皆さまの声を
お聞かせください!



本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。 <https://www.pronexus.co.jp/>
アンケートのお問い合わせ 「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp

©2024 MHFG